

## しなやかで活力ある互惠社会を目指す復興への道

白波瀬佐和子

東日本大震災からの復興に向けて、目指すべき社会とは互惠社会である。それに向けていま特に重要だと思われること、4点について述べたい。

## 1. さまざまな立場にある当事者たちへの支援

## ・ 子どもたち

親を亡くした子、故郷を離れて生活しなければならない子、原発問題を抱える福島の子どもたち、とその立場や環境はさまざまである。しかしここで共通している点は、子どもたちのこれからの長い未来をどう支え、育てていくかということである。それには長期的かつ継続的な支援が提供されなければならない。

親を亡くした子：里親制度を利用する者も少なくないが、定期的に第三者が介入し、子どもの状況を把握していく。養育費、就学への経済的支援の提供も必要とされる。

故郷を離れた子：故郷を離れ、友達と離れ離れになり、転校しなければならなくなった子どもたちがいる。被災地からばらばらになっているがゆえに、その後の様子を把握するためのコストもかかってくるが、転校先への状況把握など、適宜行っていく必要がある。

原発問題を抱える子：これからの長い将来、今回のことが子どもたちの健康に支障をもたらすリスクはゼロではない。健康の問題は時差を伴って顕在化することが多く、因果関係の特定化が極めて難しくなる。しかし、被災した子どもたちの心身の健康と安全を守るのは国の役目である。子どもたちの健康状況のモニタリングは継続的に実施されるべき。

## ・ 若者たち

被災した当時、教育から仕事へと、人生の節目に立っていた若者は少なくない。被災ゆえに、進学を諦めたり、将来の夢がくじかれたものもいる。一旦諦めかけた計画や夢をもう一度取り戻すべく、進路相談やキャリアサポートなどの支援が急務である。

新たな産業、新たな日本モデルとしての復興にあたって、その中核となるのは人材育成である。大学のみならず、専門、専修学校、高専への進学支援も積極的に進めていく必要がある。他県からの人材流入を促すためにも、被災地の学校については授業料を半額とすとか、被災者については授業料免除等を就学支援の一環として考えるべき。また、学校を卒業後も地元に残る特権を地元企業とも連携して就労支援の一環として位置づける。

- ・ 親たち

子どもを亡くした親の想いは決して晴れることはない。親たちへの心のケアも欠かすことができない。被災地を離れた親たちも心のケアを必要としている者が少なくないので、ケースワーカーや心療カウンセラー等の専門家の巡回サービスや派遣が求められる。また、これからの人生を歩む上で、職業教育や生涯教育の提供も大切である。

- ・ 高齢者たち

復興では特に、世界にも発信する新たなモデルの構築が強調された。その中で、これまで生業として農林漁業に携わってきた高齢者たちが「切り捨てられた」と感じることはないよう、辛抱強い対話を通じた支援を提供していく必要がある。生涯現役社会がうたわれているが、高齢期は健康面、経済面ともに格差が拡大する時期であるので、丁寧な対応が求められる。

- ・ 少数派たち

障害をもつもの、外国籍をもつもの、アレルギーを抱えるもの等、少数派ゆえにそのニーズはわかりにくく、声として届きにくい。ニーズをすくいあげる努力が必要である。

## 2. 男女共同参画の視点

被災地は高齢化が進み、三世帯世帯も多く、伝統的なイエ規範が強い地域でもある。町内会をはじめとして、男性のみで意思決定されてきたことも多い。互惠社会を形成するためには、世代、ジェンダーを超えた多様な立場にある者が政策決定の場に参画することが必要である。急速な少子高齢化で代表される課題先進国、日本の新たなモデルを考える上に、男女共同参画社会の視点は極めて重要である。

## 3. 復興と社会保障

復興と社会保障は「被災地モデルの一般化」として関連づけられているが、両者の取り扱いには注意を要する。財源の関係上、両者は拮抗的な対立軸で位置づけられる傾向にある。しかし、復興と社会保障は密接に関連するが、議論としては区別すべきと考える。特に社会保障制度改革と復興を混同して取り扱うのは好ましくない。

## 4. 国と現場の遠い距離

被災からの復旧に対応すべく、さまざまな政策が補正予算の成立とともに展開されているが、肝心の現場にその情報が十分伝わっていない。当事者である自治体は目の前の問題に対処するだけで精いっぱいの場合が少なくないので、一方的に情報を流しても効果はそれほど期待できない。新たに打ち出された支援策を積極的かつ有効に現場が活用できるよう、国から人が現地に出向き制度内容を説明して、実際に制度を利用できるように支援することが求められる。国から現場への人、情報、資金の迅速な流れが国と現場の距離を縮めることになる。